

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラス行徳教室		
○保護者評価実施期間	2025年8月22日		～ 2025年 9月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年8月22日		～ 2025年8月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1対1の個別レッスンが提供できる為、お子様の特性や興味に合わせた療育が提供出来ている。	定期的なカンファレンスや日々の情報共有を徹底し、お子様に合わせた支援をどの指導員でも実施できるよう努めている。	カンファレンスの強化やお子様の特性理解についての研修受講をより積極的に行うことで支援の質の向上を図っている。
2	大きな集団ではなく、2名～6名の小集団レッスンを提供し、指導員がフォローしながらお友達とのコミュニケーションを実施できている。	小集団レッスンでは集団の中での「見る力」や「聞く力」を育み、他児と関わる経験を積み重ねることにより、社会性やコミュニケーション力の向上を目指して支援を行っている。	集団でのレッスンは細かい配慮やそれぞれのお子様を理解した動きが必要になる為、レッスン前に指導員間での打ち合わせを実施する。
3	毎月、毎週変わる様々な教材や歌など、充実したプログラム内容に加え、個々のお子さまのニーズに沿った個別支援課題をプラスして取り入れ提供している点。	課題に対して『できないからやらせる』ではなく、『本人がやりたいからやる』と、主体的に取り組んでもらえるよう、ABAを基本とした療育プログラムを実施している。	プログラムへの理解とお子様への理解を深めるため、職員全員で課題内容の精査・提示や支援方法の技術研鑽に努めている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団生活における生活訓練の実施が難しい。	1時間の療育の為、『みんなと一緒に食べる、みんなと一緒にトイレへ行く』といった場面を提供する事が出来ない。個別レッスンにおける動作の訓練等は実施できるため、可能な範囲で取り組んでいる。	生活に必要な動作の部分的訓練においては、支援を実施している。園生活などでそれらが実施できない場合は、保育園等と連携を図りながら、必要な支援を検討していく。
2	タバコの匂いがする事がある。	近隣テナントが喫煙可能な施設となっている為、匂いが流れてきてしまう。テナントの管理者と協力し、防臭の為に隙間を塞ぐ等しているが、利用者がドアを開放する際に匂いが出てきてしまう事がある。	毎日見回りを行い、近隣テナントのドアが開放されていないか確認をする。また、定期的に共有スペースの換気・消毒を実施していく。
3	専用駐車場やビル入り口のスロープがなく、通所に不便な事がある。	駅周辺という立地から無料駐車場の十分な台数完備や、建物の構造上完全なバリアフリー化が困難である。	車いすやベビーカーでご利用になる際は、職員が建物入り口の段差を越える補助を行っている。